

建設物価 建設資材物価指数[®] 2024年4月分 【速報】

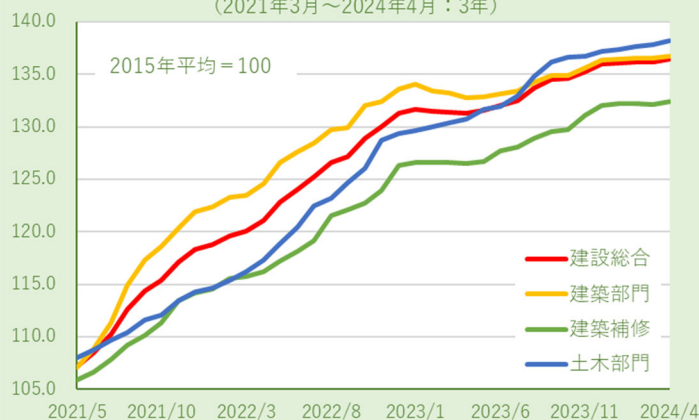
建設物価 建設資材物価指数は、建設資材の総合的な価格動向を明らかにすることを目的に作成されており、その対象を建設工事で直接的に使用されている建設資材に限定した物価指数です。なお、本指数は2015年平均を100として算出しています。

1. 指数の動向（全国平均）

4月の建設資材物価指数の動向は、**建設総合**(全国平均)が**136.5**となり、前月比+0.2ポイント(+0.2%)と**12カ月連続の上伸**となり、最高値を更新した。前年同月比では+5.1ポイント(+3.9%)となった。部門別では、**建築部門**が**136.7**となり、前月比+0.2ポイント(+0.1%)と**2カ月ぶりの上伸**となった。前年同月比では+3.9ポイント(+3.0%)となった。**建築補修**が**132.4**となり、前月比+0.2ポイント(+0.1%)と**3カ月ぶりの上伸**となった。前年同月比では+5.8ポイント(+4.6%)となった。**土木部門**が**138.2**となり、前月比+0.4ポイント(+0.3%)と**2020年5月以来47カ月連続の上伸**となり、最高値を更新した。前年同月比では+7.4ポイント(+5.7%)となった。

建設資材物価指数【全国平均】

(2021年3月～2024年4月：3年)



2. 前月比寄与度（大分類別・全国平均）

プラス寄与

【窯業・土石製品】生コンクリート

一部の地区において、製造・輸送コスト増を背景とした値上げが浸透し、指数動向のプラスに寄与

【非鉄金属】電線・ケーブル

銅の建値が4月上旬に過去最高値を更新。主原料の高騰を背景とした値上げが浸透し、指数動向のプラスに寄与

マイナス寄与

【紙・木製品】合板類

長期化している需要低迷を背景とした受注競争により続落。合板類の価格下落が、指数動向のマイナスに寄与

【化学製品】化学肥料

世界的な需給緩和を背景に肥料原料の国際相場が下落し、指数動向のマイナスに寄与

建設総合 前月比寄与度【全国平均】



建設総合 前年同月比寄与度【全国平均】



3. 都市別の動向（建設総合部門）

【名古屋】(前月比+1.0%)では、製造・輸送コストの増加に伴う生コンクリートの値上げ、主原料である銅の建値高騰によるケーブル・電線類の値上げ、そして中東情勢やロシア・ウクライナ双方によるエネルギー施設への攻撃など地政学的リスクの高まりを背景とした原油調達コストの増加が燃料油価格に反映され、これらが指数動向のプラスに寄与した。【福岡】(同+0.5%)では、製造・輸送コストの増加分を販売価格に転嫁したコンクリート製品や異形棒鋼の上伸が指数動向のプラスに寄与した。一方、【広島】【高松】【那覇】(同-0.0%)では、電線・ケーブルの値上げによるプラス寄与と、合板類や化学肥料の値下げによるマイナス寄与が相殺し、指数動向にわずかにマイナス寄与する結果となった。

各地の建設総合部門の指数【4月分】

| 都市 | 指数 | 前月比 | 前年同月比 |
|------|-------|-------|-------|
| 全国平均 | 136.5 | +0.2% | +3.9% |
| 新潟 | 133 | +0.0% | +3.4% |
| 札幌 | 136.7 | +0.1% | +4.9% |
| 広島 | 134.7 | -0.0% | +3.7% |
| 大阪 | 140.1 | +0.0% | +4.5% |
| 仙台 | 131.9 | +0.0% | +3.5% |
| 福岡 | 138.5 | +0.5% | +5.2% |
| 東京 | 135.8 | +0.0% | +3.3% |
| 那覇 | 135.5 | -0.0% | +2.5% |
| 高松 | 142.9 | -0.0% | +3.2% |
| 名古屋 | 138.3 | +1.0% | +4.8% |



一般財団法人
建設物価調査会

【指数に関するお問合せ先】

総合研究所 経済研究課 担当：若澤

TEL：03-3663-7235 E-mail：econ@kensetu-bukka.or.jp

【資材価格に関するお問合せ先】

調査統括部 調査統括課

TEL：03-3663-3892 E-mail：toukatsu@kensetu-bukka.or.jp